



FISCA

友情
第37号

富士宮国際姉妹都市協会

Fujinomiya International Sister City Association Sister City News Volume 37



富士宮国際姉妹都市協会の一年と今後

会長 望月達也

会員の皆様、当協会に御支援、御協力を賜りまして誠にありがとうございます。ご

一年を振り返りますと、春にはサンタモニカ高校の学生、総勢24名を受け入れ、有志市民のご自宅でホームステイを体験させていただきました。このように、大勢の方がサンタモニカ高校生と心温まる交流をしていただいたことに、大変感謝するとともに、次世代の方々の高い国際感覚に驚きました。

夏には、交換学生事業を実施し、サンタモニカ、富士宮両市の学生達は、高校生という感受性豊かな時期に異国の文化に触れ、良い思い出ができたことでしょう。

秋の中学生英語スピーチコンテストでは、新たな試みとして、A.C.C.国際交流学園と協力し、同学園の外国人学生による日本語スピーチと合わせて5人の中学生が英語スピーチを行いました。最優秀賞を受賞したフラダンスのおばあちゃんの話は、聞く人を優しい気持ちにさせ、その表現力、英語力は中学生とは思えないほど素晴らしいものでした。

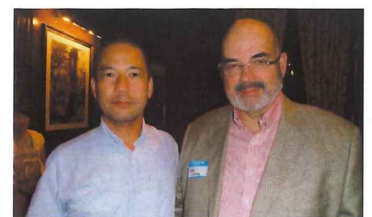


冬には、サンタモニカ姉妹都市協会会員のJerryさんご家族が富士宮市での日帰り観光を希望し、協会を頼って訪れてくれました。このように継続事業もあり、変化を持ち新しい事業も行えた一年でした。

私も理事として参加し始めてから12年が経っています。最初の頃、ホームステイをさせて頂いたDeering夫妻とは今でも交流をしております。物質的には豊かになり情報もインターネットで簡単に手に入れることができる時代になってきてはおります。しかし、人の意識や記憶に刻み込まれるような貴重な経験や体験、また、人の思いやり、人の気持ちに感動するところを持つことを、国境を超えて可能にしてい

く、当協会が社会でますます価値を高めていくことは間違いありません。

協会を市民の皆様が支える会として時代の流れに乗り遅れないように変化、発展させていき、富士宮とサンタモニカの市民レベルの交流が有意義に永続するよう、これからも皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。



サンタモニカ高校の受け入れ

学生24人、引率教師3人来日
学生は市内にホームステイ

日程 平成29年4月7日(金)～8日(土)

行程 浅間大社見学（玉串奉納・ご祈祷）、富岳館高校見学、外神東公園見学
市民の御家庭で1泊ホームステイ、ホストファミリーと過ごしました。

滞在中の学生たちの様子



富岳館高校見学



浅間大社見学（ご祈祷）



引率先生3名



昼食 富士宮やきそば・お好み焼き



市長表敬訪問

■ ホストファミリーの感想

何をして過ごしましたか？また印象に残っていることは？

- ・おにぎり、味噌汁作りなど日本の家庭料理を振る舞った。
- ・富士山を見せたかった（あいにくの天気でした…）。
- ・白糸滝や奇石博物館に案内した。
- ・自宅で歌を歌ったり、子どもたちとゲームなどして遊んだ。夜は、枕投げも！
- ・いちご狩り、回転寿司、ラーメンなど日本食を食べさせた。
- ・連絡先を交換し、その後も連絡を取り合っている（メールや文通など）。
- ・和太鼓や習字など日本の伝統文化に触れてもらった。

またホストファミリーをしたいと思いますか？

アンケートにご協力頂いた全てのご家庭から「また受け入れたい」という回答を頂きました。

サンタモニカ高校は2年に1度、富士宮市を訪れます。

次回訪問は2019年！楽しみです！

サンタモニカ交換学生事業

学校夏季休暇の4週間で
ペア学生と一緒に生活

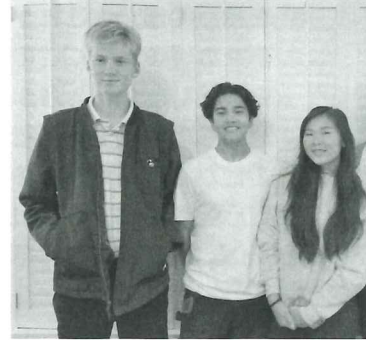
7月22日(土)～8月4日(金) 富士宮市の高校生渡米/サンタモニカのペア学生宅でホームステイ

8月4日(金)～8月17日(木) ペアの学生と一緒に帰国/富士宮市で各学生宅にホームステイ

■平成29年度 交換学生のご紹介



写真左から
花井玲美 (加藤学園暁秀高校)
齋藤妃夏 (富士見高校)
塩澤千聖 (富士宮北高校)



写真左から
Trevor Scripps
Beau Azuma
Christine Shimahara
(サンタモニカ高校)

出 発 !!



サンタモニカ滞在中の学生たちの様子



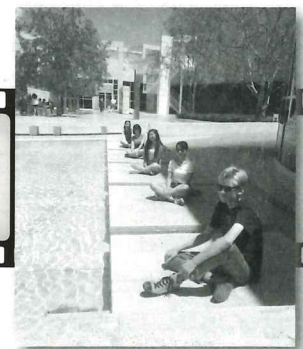
ロサンゼルス空港到着



サンタモニカ市庁舎訪問



ハリウッド



初めてだらけの2週間

塩澤千聖 (ペア Trevor)



昨年、担任の先生からこの事業を教えていただきました。以前から海外に興味を持っており、これからの夢を広げるためにこの事業に参加しました。今まで2週間もの間、親元を離れたことがなく、海外にも行ったことのない私にとっては、心配なことだらけでした。

しかし、行ってみると、その心配を忘れてしまうほど有意義な時間を過ごすことができました。

バディが決まり、すぐにトレバーとメールのやりとりが始まりました。英語は好きですがあまり得意ではない私にとって、メールを訳すのにも時間がかかりました。サンタモニカへ行く1週間前、ホストマザーからもメールを頂きました。アメリカで行きたい所、やりたいことなど様々なことを聞いてくれました。私は、大学で国際関係を学びたいので、アメリカの大学を見たいと伝えました。そんなやりとりをしている間に1週間がたち、出発の日を迎えました。

空港に行く間や、飛行機の中でも実感が沸かず、いつの間にかアメリカに着きました。私はホストファミリーと2日目に合流することになっていたのですが、1日目はボーの家にお世話になりました。1日目の夜から自転車で海岸を散歩しました。2日目は朝から海へ行き、そこでトレバーとホストファミリーと合流しました。簡単な自己紹介はできましたが、3日間くらいはあまり自分から話しかけられませんでした。しかし、徐々に耳が慣れてきて、会話が聞き取れるようになったことで少し自信を持ち、自分から話しかけられるようになりました。発音が違ったり、少し言い方が違ったりすると、ホストファミリーが優しく教えてくれました。そして、私がメールでアメリカの大学を見たいと言ったので、ホストマザーがUCLAに連れて行ってくれました。とても大きくて綺麗でした。

アメリカ滞在中、家で夕飯を食べたのは3回でした。他は、外食やパーティーでした。パーティーでは、

専門業者みたいな方を呼んで、庭でタコスを焼いていました。多くの方に私を紹介してくれて、多くの方に話しかけてもらいました。また、ドイツの交換学生とともに、ビーチパーティーをしました。みんなで食べ物を持ち寄ったり、泳いだりする時間がとても楽しく、簡単なサーフィンも初めてしました。ボディサーフィンでしたが、褒められてとても嬉しかったです。

滞在中、いろんな場所に連れて行ってもらい、多くのことを学びました。ホストファミリーと離れるのは悲しかったのですが、再会を約束しお別れをしました。ホストファミリーのおかげで、とても楽しい時間を過ごすことができました。

日本へ来ると、今度は私がおもてなしをする番です。トレバーは、英語とスペイン語しか話せないのので、日本に来る前から日本語の勉強をしていました。そして、家に着くと日本語で自己紹介してくれました。家では、私の弟と遊んだり、アメリカから持ってきたベースを聞かせてくれたりしました。トレバーは身長が高いので、いろんなところで頭をぶつけていましたが、徐々に日本の高さに慣れ、頭をぶつける回数は減っていきました。トレバーは、お寿司が大好きで「何食べたい?」と聞くと「sushi!!!!」と即答しました。積極的にお箸を使い、外食の際には、お箸でお冷やを持って「This is Japanese style」と言って楽しんでいました。

平日は、交換学生全員で、東京や富士急ハイランド等へ行きました。トレバーは家に帰ると買ったものを全部私の家族にお披露目してくれました。念願の宝永山ハイキングも行うことができ、とても喜んでいました。また、私の学校で相撲を見て喜んでいました。

4週間一緒に居たので別れはとても悲しかったです。ハグをし、「また日本に来る。あなたの家族に会えて良かった」と言ってくれました。

この事業で、自分の気持ちを伝える大切さを学びました。また、もっと英語を勉強しようと思うようになりました。

そして、日本に興味を持っている方々に日本をもっと知ってもらいたいと思います。また、協力してくれた家族に感謝の気持ちを忘れず、今回の経験を生かし、これからもたくさんの方に挑戦していきます。





この冊子を手にとった学生さんへ。簡潔にまず言いたいことを言います。少しでもこの事業に興味があるなら絶対申し込むべきです！英語ができない、不安……。そんなことは少しも心配しなくても大丈夫です！事前から滞在中

までずっとサポートしてくれる親身な役員さんや、ともに助け合える仲間、優しさ溢れたホストファミリー、そして何ととっても美しいサンタモニカ。その全てが私の夏休みをかけたえのない最高の宝物にしてくれました。楽しみながら人として大きく成長できるので、ぜひ挑戦して欲しいです。

私は、将来英語を使い世界の舞台で働きたいと思っており、そのために文化の違いや語学力を身につけるべく、この事業に応募しました。私は今まで、海外で過ごすために必要なものは語学力だと思っていました。私は英語力には自信があったので、その点では少し慢心していた部分もありました。

しかし、ロサンゼルス空港で初めてホストファミリーに会ったとき、衝撃が走りました。言葉が出ない。すごく優しく笑顔で迎えてくれたものの、見知らぬ土地で知らない人の家で2週間過ごすのだと思うと震えが止まりませんでした。ほかの2人と自分を比べた時の焦り、時差ぼけとホームシックで、一日目の夜は2時頃まで眠れませんでした。

そして聞かれた質問には答えられるけど、自分からは話しかけられない、そんな状況が続きました。Beauは男の子ということもあり、打ち解けていないような気がしていました。それは私自身が作っていたBeauとの壁でした。恥ずかしがり相手から話してくれるのを待っているばかりに、いつのまにかチャンス逃して徐々に距離ができていました。私には伝えようとする意思が欠けていました。

それからは、積極的に話しかけようと心がけました。

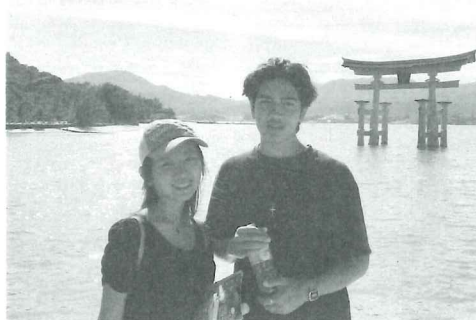
私とBeauは趣味も性格も全く違ったので、買い物するときなど大変なこともありましたが、私が心を開いたら、向こうも心を開いてくれるようになりました。文法がめちゃくちゃで恥ずかしい、分からないのが申し訳ない、と思っていた私は間違っていました。ちゃんとした英語なんてしゃべれなくてもいい。ホストファミリーは一生懸命理解しようとしてくれるし、ゆっくり喋ってくれます。それよりも大切なことは、私は話したい、仲良くなりたいという意思を相手に見せることなのです。

こうしてサンタモニカでの2週間はあっという間に過ぎ

ぎ、私はBeauとともに富士宮に帰ってきました。そして第二の試練が待ち構えていました。日本の文化を伝えるということです。サンタモニカではおもてなしされる側だったので、使う英語は、これが食べたいとか、あのお店に行きたいとか、日常英語が中心でした。でも、日本では私がBeauに日本の事を紹介せねばなりません。例えば浅間大社に行ったとき、神社をどう説明するのか、絵馬は英語でなんて言えばいいのか、頭を悩ませました。文化や国が違う人と接するときは、相手の事を知る以上に自分の国の文化のことを知らなければいけないと学びました。富士宮での時間は私たちが日々当たり前だと思っていることを見つめ直すいい機会でした。

Beauと過ごした1ヶ月間。当時は楽しかったという感情が強かったけれど、今こうして振り返ると、たくさんの事を学べた貴重な体験でした。ハンバーガーは美味しいとか、アメリカ人は時間にルーズとかいう表面的な発見以上に、会話に大切なのは言葉よりも心であるとか、羞恥心は無意味だとか、普遍的な概念も学びました。それは実際に経験しなければ学べないものであり、だからこそ、この事業に参加できてよかったと、心から思います。

この交流を終え、もっとたくさんの国の文化に触れてみたい、視野をもっと広げたいと思いました。私にとってこの夏は、「世界と近くなれた」、そんな瞬間でした。





飛行機を降りて、周りには外国人しかいない、英語しか聞こえない、という状況で、初めて、アメリカに来たという実感が湧いた。直前まで、アメリカに行くなんてことは考えられなくて、楽しみ半分、不安半分だった。

空港に着くと、クリスティーン達がすでに待っていて、ウェルカムボードを掲げ歓迎してくれた。空港の外に出てみると、見るものすべてに圧倒された。日本とは全く違う西洋の景色、少し乾燥した空気や、信じられない程の暑い日差しさえも私をワクワクさせた。もう不安なんてない。息をしてもしきれないほどの大きな大地で、ちっぽけな私のアメリカンライフがスタートした。

初めに向かったのは市場。多くの新鮮な果物や花が色鮮やかに並んでいた。そこでホストマザーのロレインが、ジュースと花束を買ってくれた。

買い物が終わると、ロレインが「クリスティーンのお稽古に連れて行ってあげる」と言った。ある建物に着くと、クリスティーンは着物に着替え、周りにも着物を着たアメリカ人がいた。クリスティーンのお稽古とは日本舞踊で、先生は日本人だった。クリスティーン達は、日本の伝統的な曲に合わせ可憐に舞っていた。また、習字や生け花なども展示されており、アメリカでは日本の文化を慕ってくれていると嬉しく感じた。夕食は家族全員、テラスでピザを食べ、あっという間に一日が終わった。

二日目はビーチのレストランでランチした。心地よい波の音を聞きながらのランチはまさに至福の時だった。

四日目は、夢にまで見たハリウッドサインを見ることができた。今でも、あの光景を実際に見たことが嘘に思えるほど、嬉しくて興奮した。その後みんなで大サイズのハンバーガーを食べた。これがアメリカンサイズか！大きくて驚いた。次にレッドカーペットが行われる場所を見た。世界を感じすぎて、ただ茫然と立っていることしかできなかった。

五日目は、今は亡き石油王が生前に寄付して作られた

という美術館に行った。絵画などにはあまり興味がないので乗り気ではなかったが、行ってみたら凄かった。館内だけじゃなく、そこへ行くまでの道すら綺麗で、アメリカっぽくて好きだった。午後は女子だけでビバリーヒルズを堪能した。駐車場を抜け外に出た瞬間、見たこともない景色が広がっていた。道路に沿って美しく植えられたヤシの木や、白を基調とした西洋を思わせる明るい建物、周りには高価な服や靴のお店や高級車が並んでいた。まるで自分たちがセレブになったかのような感覚だった。

七日目は、楽しみにしていたビーチパーティーだった。あいにく快晴ではなかったが、それも忘れてしまうほど充実した一日となった。特に印象に残っていることは、野生のイルカを真近で見たことだ！運がよく、約5頭のイルカがビーチの近くまで来てくれた。ビーチで、みんなで食べるご飯は格別においしかった。サンタモニカと姉妹都市提携しているドイツの交換学生も一緒にビーチパーティーに参加していた。少しだけだが交流をし、異なる国の人たち同士で会話することの楽しさを実感した。

八日目はホストファミリーだけで過ごした。弟ルークのバスケの試合の応援に行った。そこで食べたスパムおにぎりが最高においしかった。

ホストファミリーはみんなとても親切で優しく、体調面は特に気遣ってくれた。妹クラリスは、ホストマザーと同じ位に気遣ってくれた。ルークは日本語が一番上手だった。父クレイグは映画監督で、仕事が忙しくあまり家に居なかったが、初日と最終日は休んでくれて最後のディナーは家族全員でレストランに連れて行ってくれた。アメリカでは、家族みんなが、家の中でも顔を合わせると「hi!」と挨拶する。道ですれ違う知らない人同士も「hi!」と挨拶する。これはとても良い習慣だと思った。日本でもこういう良い文化はぜひ取り入れたいと思う。

毎日が初めての連続で、刺激的で、非常に濃密な二週間だった。アメリカで経験した体験や時間は、今後の人生に生きていくはずだ。この事業を経験して、新しい目標を見つける事ができた。その目標に向かってこれからも突っ走っていきたい。



●●●●●●●●●● 日本滞在中の学生たちの様子 ●●●●●●●●●●



羽田空港到着



御神火まつり



宝永山ハイキング



まかいの牧場でバター作り



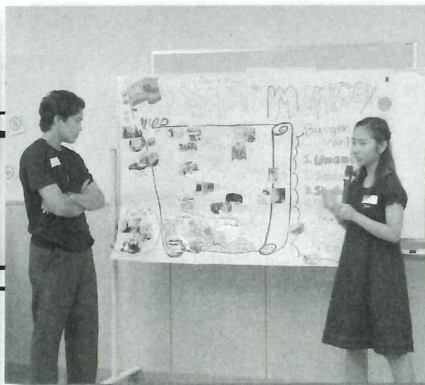
外神東公園
サンタモニカピアサイン



市長表敬訪問



ウェルカムパーティー
日本舞踊を体験



サンタモニカ講座
現地での交流、ホームステイ生活の話を発表

中学生英語スピーチコンテスト

市内中学生による自作スピーチの発表
A.C.C.国際交流学園と共同で開催

■ 2017年10月14日（土）開催



写真左から

★最優秀賞

My legend grandmother 「伝説のおばあちゃん」

海野 宇宙

★富士宮ワイズメンズクラブ会長賞

Foreign cultures 「外国の文化」

遠藤 亜伊

“Omotenashi” heart 「おもてなしの心」

三枝 もこ

I am not what I was before 「僕を人として成長させてくれているもの」

後藤 壮史

Sustainable Development 「持続的な開発」

清水沙耶花

My legend grandmother 「伝説のおばあちゃん」 (抜粋)

Let me introduce my grandmother! I am very proud of her.
My grandmother is 67 years old this year, she has a bright personality and she's cheerful. She is learning hula dancing. Her hobbies are young beyond my mother, her room and car's interior are very Hawaiian.
I live with her peacefully as she prepares rice, miso soup and my favorite side dishes every morning instead of my mother who leaves for work early.
I wish I could live with such a wonderful grandmother forever...

英語のスピーチへの挑戦・大きな舞台での発表は、今回が初めてでした。

中学生活の中で、何か1つ大きな事を成し遂げたいという漠然とした目標を持ち、チャンスがあればと、このコンテストに応募しました。審査結果の合格通知が届き、嬉しさと焦燥感にかられ、特別な塾にも行っていなかった僕は、原稿の暗記・暗誦を繰り返しました。

何度も何度も練習をし、学校の先生の協力も得て1語1語の発音や、人を惹き付ける手法、表現方法を教えていただきました。

当日は、手・足・口の震えが止まりませんでした。自分がどれくらいの声量で発表し、身振り手振りがきちんとできたのかなどは、緊張のあまり全く覚えていません。

最優秀賞の発表時、名前を呼ばれるまで自覚がありませんでした。

時間が経つにつれ徐々に実感が湧き、自信となりました。何よりも新しい自分の可能性にも気付くことができました。母と同じ舞台上で同じ経験ができたことも、恩返しのできたのかとも思っています。

この機会が自分の糧になるような生き方をしていきます。

海野 宇宙



スピーチコンテストの様子



Jerrold Winter氏訪問

サンタモニカ姉妹都市協会の会員であるジェリーさん一家の富士宮訪問を歓迎

2017年11月20日(月)



アサヒ富士山工場
製造ライン見学
十六茶等の原料に触れる



中央消防署
救急車両や機材の説明
地上高さ30mはしご車体験



ご協力ありがとうございます

【寄付金を頂いた団体・会社のご紹介】
富士宮ワイズメンズクラブ
アサヒワンビールクラブ

【富士宮ライオンズクラブ例会訪問】
交換学生を快く、そして温かく迎えてくださったライオンズクラブの皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。



2018年2月15日(木)

アサヒグループの有志社員が会員となり、地域貢献活動などを行っている団体に寄付を行う、「アサヒワンビールクラブ」から、寄付金をいただきました。

交換学生事業を中心に、大切にさせていただきます。



平成30(2018)年度総会のお知らせ

●日程 5月9日(水)午後3時～

●会場 富士宮市役所7階710会議室

平成30(2018)年度の主な事業予定

●サンタモニカ交換学生事業 7月21日～8月17日

●サンタモニカ親善訪問団 9月20日～9月24日

*詳細は随時HP・facebook等でお知らせします。

姉妹都市サンタモニカ親善訪問団 アメリカ西海岸

サンタモニカ5日間

メジャーリーグ(ドジャースvsパドレス)観戦ツアー付きっ!!

前田健太選手と、静岡県出身・牧田投手の対決が観られるかも!!



費用 200,000円前後 **期間** 平成30年9月20日(木)～24日(月・祝)

※費用は、出発時の燃油サーチャージ等により変動する可能性があります。



- ★ サンタモニカ姉妹都市協会員 & サンタモニカ市民と交流ディナーレセプション
- ★ 富士宮市役所から空港までバス送迎で楽々移動
- ★ サンタモニカ1泊ロサンゼルス2泊(3泊5日)

お問い合わせ・申し込みは…
富士宮国際姉妹都市協会
電話 (0544) 22-1486
Fax (0544) 22-1284

会員募集のお知らせ

当協会は、会員の皆様からお預かりした会費により事業運営をしております。

皆様の会費や寄付により、富士宮市の将来を担う若者たちのために、より多くの英語発表の場や、国際交流の機会を提供することができます。御協力をお願い致します。

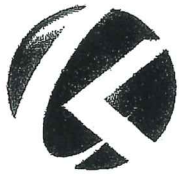


中川衣料さん製作!
協会オリジナル
Tシャツ・帽子 完成!

詳細は協会HP/facebookを
Check it out!!



—あなたのお車を、しっかりサポート—



KASUGA.JD

株式会社 **春日自動車商会**

三菱自動車サテライトショップ富士宮中央店

TEL (0544) 24-3636
FAX (0544) 23-8448
Mail kasuga@kasuga-jd.com

今年も楽しさいっぱい、
思い出深い。
サンタモニカとフジノミヤの交流を
お祈りいたします。

割烹旅館 たちばな



割烹旅館ならではの贅を尽くした料理の味わい
和の趣のある美しいたたずまい 細やかなおもてなし
皆さまの心を癒す静かな空間をお創り致します

〒418-0039
静岡県富士宮市野中1085-4(富士宮ゴルフクラブ下)
TEL 0544-27-7000(代)
FAX 0544-24-0104
E-mail: ishida@tachibana-fuji.co.jp



各種引き出物

贈答品

PR用品

ハートギフト宮北店

富士宮市宮北町74
TEL 0544-26-5352

心身ともに たくましく

豊かな環境に包まれた 乳幼児期を



学校法人足立学園 認定こども園
リーチェル幼稚園

住所: 〒418-0051 富士宮市淀師 1742-1
ホームページ <http://www.rcl.ed.jp/>

交換学生募集のお知らせ

高校生のみなさん！富士宮市の姉妹都市サンタモニカで異文化体験してみませんか！
期間中は、現地高校生とペアを組み、お互いの家庭で約2週間ずつ、家族の一員として生活します！



ホームステイ in サンタモニカ

毎年夏期休暇に合わせて
実施しております！



対 象 高校生

*市内在住、または市内高校に通学

募集人数 3人 (予定)



お問い合わせください！

富士宮国際姉妹都市協会事務局

富士宮市役所 市民交流課内

Tel 0544(22)1486 Fax (22)1284

E-mail:koryu@city.fujinomiya.lg.jp

<https://www.facebook.com/fiscafujinomiya>



印刷：フジ印刷有限会社

編集後記

事務局

英語は中学生の頃は得意な方でしたが、高校での英語の授業の記憶は全くありません。それから十数年、英語とは無関係の生活をしてきた私が、姉妹都市協会の事務局員となり、英語を話す人達とコミュニケーションを取らなければいけない事態に陥ったのは昨年4月のことでした。

夏の交換学生事業では、3人のサンタモニカ学生を受け入れました。事務局には正規の通訳があり、私は、主役の

学生達を事務的にサポートする立場ではありますが、心密かに「積極的に英語を話す」と目標を立て業務に当たっていました。単語も全然知らない私ですが、「雰囲気伝える」ことを意識しながら2週間を過ごしました。伝わったかどうかは不明ですが、失敗を恐れずに話せたことで、この歳でも自分の成長を感じられ、私にとっても忘れられない夏となりました。